

【学術研究、専門・技術サービス業】業務改善助成金 活用事例（広島労働局：平成27年度～令和2年度 交付決定分）

番号	業種	労働者数	賃金額の 引き上げ状況	取組内容	導入前の状況	導入の効果
1	専門サービス業（他に分類されないもの）	3人	時間給で40円賃金を引き上げた	大型プリンター、断裁機の導入	これまで大きな印刷物は印刷できず、外注に出していたため、完成までに3～4日かかり、経費も多くかかっていた。	印刷機、断裁機の導入により、作業が1時間で完了し、コストが大幅に削減できた。
2	専門サービス業（他に分類されないもの）	2人	時間給で51円賃金を引き上げた	給与計算ソフトの導入	これまで賞与支給月に関しては、賞与支給日が決まらなければ、賞与計算及び給与計算もできず、作業スケジュール通りに業務ができず、効率が悪かった。計算処理に時間をかかり、給与計算事務が遅くなっていた。	新システムを導入したことにより、賞与支給日を考慮することなく、作業スケジュール通りに給与計算・賞与計算が効率よくできるようになり、給与計算処理のスピードも速く、以前より半日程度作業時間が短縮できている。システムの処理能力が高いため、無駄な時間が減り効率的に作業ができるようになった。
3	専門サービス業（他に分類されないもの）	2人	時間給で90円賃金を引き上げた	クラウドシステムの導入	システム連携が利用できず、電子申請等の手続きを行っており、政府の電子申請システム（e-gov）へ繰り返し同じ条件を打ち込むなど、丸1日申請作業をすることもあった。	既に把握しているデータでシステムから連携でき、入力の手間がなく、また申請状況をシステムで一元管理できるようになった。さらに顧客とクラウドで連携することで、給与計算データや報酬月額等のデータも共有し、スムーズなやり取りが可能となった。データ入力の二度手間や、申請先ごとの入力方法の差異がなくなり、電子申請業務が5分の1程度まで削減できた。
4	専門サービス業（他に分類されないもの）	4人	時間給で70円賃金を引き上げた	クラウド型サーバーの導入	財務会計業務のデータベースは、社内に設置したサーバーに保管しているため、顧客訪問先でデータが見られず、再度訪問しなければならなくなったり、要望に即時に回答できない場合があった。	社内サーバー保管から外部クラウド保管に切り替えたことで、外出先からデータベースにアクセスできるようになり、顧客からの依頼にその場で対応できるようになった。データが外部の強力なセキュリティで保護されるようになったので、セキュリティ強化及びデータ毀損防止に繋がった。

【学術研究、専門・技術サービス業】業務改善助成金 活用事例（広島労働局：平成27年度～令和2年度 交付決定分）

番号	業種	労働者数	賃金額の 引き上げ状況	取組内容	導入前の状況	導入の効果
5	専門サービス業（他に分類されないもの）	3人	時間給で100円賃金を引き上げた	写真撮影機器の導入	出張先で移動スタジオを設営し、撮影画像をモニター表示しているが、1メートルの有線LANであるため、カメラから大型モニターを接続したパソコンを、顧客が集まっている場所に持って行けなかった。 重い照明機材等を毎撮影ごとに搬入、組立、調整、撮影、解体、撤収し、電源コード、カメラとストロボ照明との接続コードが煩雑で、顧客の高齢者がひっかかり転倒しないか懸念されていた。	カメラからパソコンに画像転送し、モニターに画像を自動表示し、自身の画像を確認できるようになり、注文が増えた。 1台520gのフラッシュ照明を採用し、搬入搬出が楽になり、電源は内蔵され、各種コードが不要になり、高齢の顧客が転倒する心配が減った。 撮影で記録された画像データは、ストレージ・サーバに保存されるようになり、長期保存用DVDIにバックアップを作成する。サーバーの画像処理の能力向上で、作業時間が短縮した。 撮影しながら自動の画像表示で、顧客自身が映り具合を確かめることができ、スタッフ自らの仕事に集中できるようになった。 撮影機材量が25%削減でき、撮影時間等が30%短縮できた。
6	技術サービス業（他に分類されないもの）	4人	時間給で90円賃金を引き上げた	撮影用ステージに昇降用のステップの追加工事、スタジオ内の照明の追加、カメラ、レンズの追加導入	撮影用の明るさが均一でないため、スムーズな撮影が阻害されていた。ステージ昇降用の階段が不安定なため、モデル、カメラマンの移動が危険だった。カメラの台数が限られていたため、大人数相手の撮影や出張撮影に対応できないことがあった。	照明の追加により、天候に左右されることなく撮影ができるようになった。ステップの追加により、顧客・カメラマンの移動がスムーズになり、より撮影業務が効率化された。カメラ・レンズの追加により、大人数相手の撮影や、不意の機材のトラブルにも余裕をもって対応することができるようになった。
7	専門サービス業（他に分類されないもの）	2人	時間給で60円賃金を引き上げた	ドローン、紙折機、アイロンプレス機の導入	高い所からの撮影には高いビル等へ上がり、映像を確認する作業を繰り返し、撮影に1日かかっていた。印刷したものを折る後処理を、家庭用のアイロンを使い、手作業で行っており、時間がかかっていた。	ドローンを導入することで10～15分で撮影が可能となった。紙折機を導入し、二つ折りを1分間に260枚折れるようになった。アイロンプレス機では、広範囲を一気にプレスできるので1分で完了するようになった。